

2023年10月11日

## 行動経済学会第17回大会サテライト・ワークショップのお誘い

行動経済学会若手ワーキンググループ

拝啓

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る12月9日、10日に開催されます行動経済学会第17回大会に先立ちまして、大会前日の12月8日(金)に有志によるワークショップ「これからの行動経済学・実験社会科学研究に向けて：研究者に求められる知識やスキルは何か」を企画いたしました。

このワークショップは、行動経済学に関心のある研究者間で、活発な議論を通じてお互いの興味や知見を共有し、行動経済学に対する理解を深めることを目的に開催されます。登壇いただく講演者による問題提起を基調にして参加者全体で議論を積み重ね、各々の問題意識の掘り下げと新たな視点への気づきが芽生えるような会にしたいと考えております。

学会直前のご多忙な時期とは存じますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。また、関係各位への周知等にもご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

敬具

### 1. 目的

活発な議論を通じてお互いの興味や知見を共有して、行動経済学に対する理解を深めることを目的とする。

### 2. 行動経済学若手ワーキンググループ

石原卓典(京都先端科学大学)、小島健(創価大学)、窪田康平(中央大学)、黒川博文(関西学院大学)、高阪勇毅(京都経済短期大学)、後藤晶(明治大学)、佐々木周作(大阪大学)、田村輝之(東海大学)、中村隆文(神奈川大学)、林良平(高知工科大学)、森知晴(立命館大学)、山根承子(株式会社パパラカ研究所)

### 3. 日時・会場

日時：2023年12月8日(金) 15:30-17:30 (15:15受付開始)

会場：高知工科大学永国寺キャンパス 210教室

#### 4. ワークショップ概要

テーマ：「これからの行動経済学・実験社会科学研究に向けて：研究者に求められる知識やスキルは何か」

司会：

後藤 晶（明治大学）

登壇者：

田口 聡志 氏（同志社大学）

上條 良夫 氏（早稲田大学）

高岸 治人 氏（玉川大学）

#### 5. 企画趣旨

行動経済学は、心理学や脳科学などの他の学問の知見を伝統的な経済学に組み入れた分野であるともいえます。行動経済学は理論に基づく研究だけではなく、実験により得られた知見を積極的に反映する形で発展してきました。

また、実験的な手法は必ずしも経済学に留まらず、会計学などの幅広い社会科学研究の領域に対しても用いられており、現実の社会現象や個人の意思決定に対する理解を深めるための強力なツールとして受け入れられつつあります。

今回のワークショップでは、「実験」という手法をもとに経済学・会計学・社会心理学領域で研究を積み重ねていらっしゃる先生方に、現在興味関心のある研究についてお話しいただきます。あわせて、これからの行動経済学者や、実験的な手法により研究を積み重ねる実験社会学者が身につけるべき知識やスキルについて議論していただきます。

今回のワークショップの目的は、自身が研究者としてどのようなキャリアを築くか、そしてどのような知識・スキルを獲得すべきか改めて考えるきっかけにさせていただくことにあります。学際的な研究領域である行動経済学の研究を積み重ねるためには、近接領域の知見についても目を配る必要があります。他分野で行われているさまざまな実験手法に触れることにより、自身の研究者としての方向性について考える機会にさせていただきますと幸いです。

#### 6. 対象

- 主として、行動経済学に関する研究を行っている研究者・学生。
- 身分や年齢、経歴は問いません。お気軽にご参加ください。

#### 7. 参加方法

- 当日会場へお越してください。
- 本ワークショップでは、聴衆も自発的に議論に参加できます。基調講演のテーマに関連して予め述べたい主張等がある方は、司会(後藤: [akiragoto\[at\]meiji.ac.jp](mailto:akiragoto[at]meiji.ac.jp))までご相談いただきますと当日の進行が助かります。

2023年10月11日

## 若手研究者の研究アピール・タイムについて

行動経済学若手ワーキンググループ

拝啓

紅葉の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、若手ワーキンググループでは、行動経済学会第17回大会の前日に開催されますサテライト・ワークショップに引き続き、若手研究者の研究アピール・タイムを企画しております。

この企画は、コロナ禍で対面での学会や研究会の機会が減った弊害を相殺するために開催されます。研究活動の幅を拡大させたいと模索する若手研究者・大学院生等の交流や自己アピールの機会を設けて、研究ネットワークの円滑な構築を促進することを目的としています。

研究アピールを希望する若手研究者はもとより、新規採用を計画している大学関係者ならびに共同研究相手を探している研究者など、幅広い方々にご参加いただければ幸いに存じます。

学会直前のご多忙な時期とは存じますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。また、関係各位への周知等にもご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 目的

研究活動の幅を拡大させたいと模索する若手研究者や大学院生等が、自らの興味や研究内容を関係者に広くアピールすることを通じて、研究ネットワークの円滑な構築を促進することを目的とする。

#### 2. 日時・会場

日時：2023年12月8日（金）17：45-18：15

会場：高知工科大学永国寺キャンパス 210教室

（開始時間は予定です。サテライトワークショップ終了後ただちに開始します。

### 3. 発表方法

発表者が3名以下の場合：1人10分間のプレゼンテーション

発表者が4名以上の場合：30分を発表人数で除した時間のプレゼンテーション

発表者が7名以上の場合：

求職活動中の研究者を優先して発表していただき、大学院生等はお断りする場合があります。

### 4. 発表申し込み方法

2023年11月30日（木）12:00までに、下記までお申し込みください。

明治大学 後藤 晶 (akiragoto[at]meiji.ac.jp)

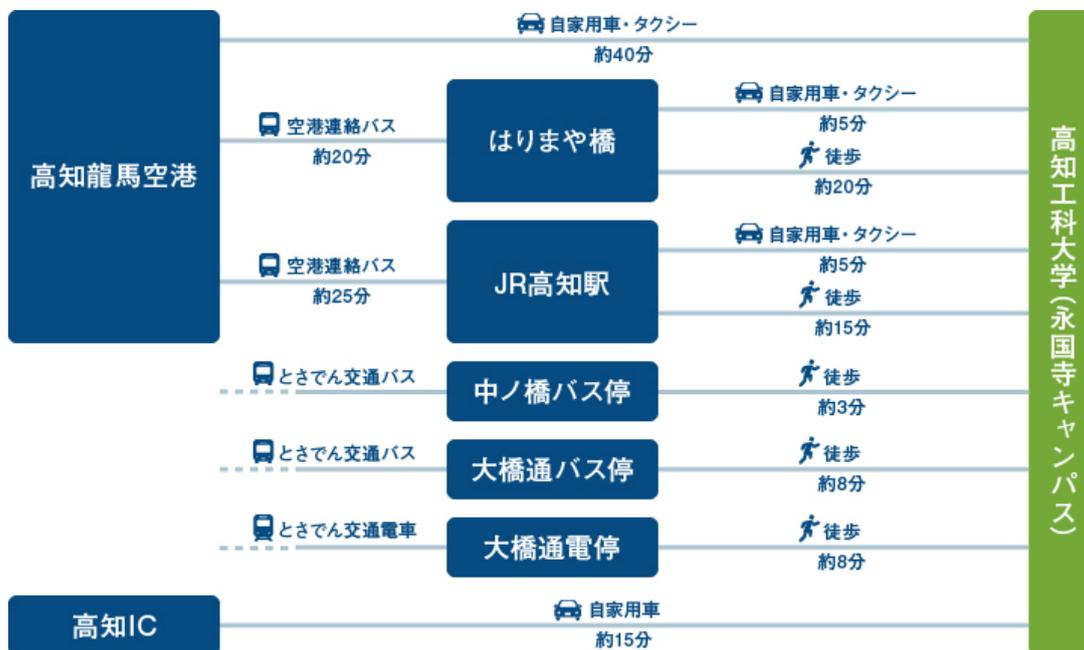
### 5. 聴講方法

当日会場にお越しください。事前予約等は不要です。

なお、直前に開催されておりますサテライト・ワークショップにもぜひご参加ください。

以上

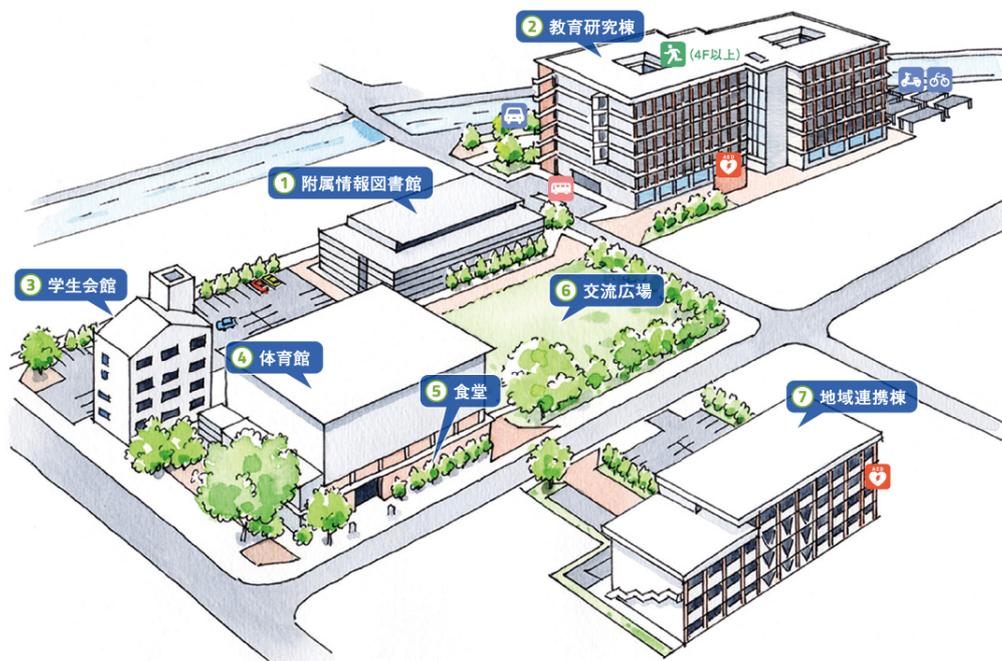
会場アクセス：



詳細は<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/campus/eikokuji.html>をご確認ください。

キャンパスマップ：

②教育研究棟2階に教室があります。



シャトルバス乗降場
 来客用駐車場
 バイク置き場
 自転車置き場
 AED設置
 避難場所

詳細は<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/campus/introduce/eikokuji-map.html>をご確認ください。